

# 株式会社サテライトオフィス

---

## サテライトオフィス・データバックアップ for Arcserve UDP Cloud Direct/Hybrid

---



株式会社サテライトオフィス

2020年1月16日

# サテライトオフィス・ データバックアップ for Arcserve UDP Cloud Direct/Hybrid

お問い合わせ



販売代理店  
募集中

## Arcserve UDP Cloud Direct/Hybridとは?

「サテライトオフィス・データバックアップ for Arcserve UDP Direct/Hybrid」とは、自然災害などによるサイト障害からデータを守りシステムを継続利用するためのクラウドサービスです。

## Arcserve UDP Cloud Direct/Hybridとは？

「サテライトオフィス・データバックアップ for Arcserve UDP Direct/Hybrid」とは、自然災害などによるサイト障害からデータを守りシステムを継続利用するためのクラウドサービスです。「Direct」「Hybrid」の2種類からお選びいただくことが可能です。



### Cloud Direct

Backup Server不要で、  
クラウドへ直接バックアップ



### Cloud Hybrid

UDP専用 Cloud Serviceで、  
短期間での災対サイトを提供

0365を直接バックアップも可能

# Arcserve UDP Cloud Direct/Hybridの導入メリット

## 構築/設定作業が不要

お客様向け環境の構築は全てArcserveで行います。そのため構築に伴うクラウドインスタンスの構築/設定作業は一切不要。技術リソースがかかりません。

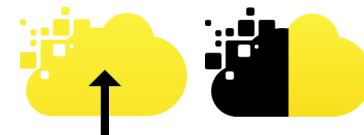
## シンプルな定額課金

シンプルな容量課金（1年サブスクリプション）でストレージコストが非常にわかりやすいです。ご契約いただいたストレージ範囲内なら台数無制限で保護できます。DRaaSを希望される場合はシステムリソース課金が追加で発生します。

## 導入コスト削減

Arcserve UDP Cloud Directは、オンプレミス上にバックアップ環境不要で導入できるため、ランニングコストを抑えることができます。

Arcserve UDP Cloud Hybridは、既にUDPソフトウェア/UDP Applianceをお持ちのお客様であれば安価にクラウドストレージ/DRサイトを導入できます。



# サテライトオフィス・データバックアップ for Arcserve UDP Cloud **Direct** のご紹介

Arcserve UDP Cloud Direct 機能 に関する説明をします。



サテライト オフィス  
**Sateraito Office**

# Arcserve UDP Cloud **Direct** とは？

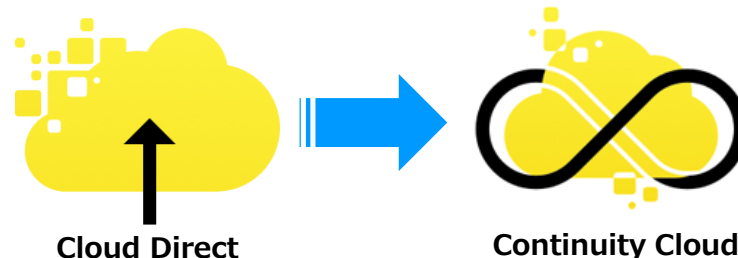
## Cloud Direct



Arcserve UDP Cloud Directは、オンプレミス環境上にバックアップ環境を持たずにバックアップデータの一時保管先、またはDRサイトとして提供するクラウドサービス。

## Direct 2つのコストメリット

- 1. クラウドインスタンスの構築/設定作業は一切不要**
  - ✓ サービス契約後、クラウドを利用したバックアップ運用を**すぐに開始**できる状態でクラウドアカウントをご提供します
  - ✓ インスタンス構築に関連する**面倒な設定作業は一切不要**。**ネットワークやセキュリティも設定済**なので、すぐに運用が始められます
- 2. ご契約いただいたストレージ範囲内なら台数無制限で保護**
  - ✓ **転送量**に対する**課金がなく**、ストレージ課金も**年契約で固定**なのでコスト見積もりも容易。契約期間中でも**容量増加の追加契約**ができるので契約時の容量が不足して運用を止める心配がありません
  - ✓ ストレージやインスタンスのメンテナンスも全てArcserveにお任せ、**メンテナンス作業は一切不要**です。



## Arcserve UDP Cloud **Direct** とは？

バックアップに必要なソフトウェアや機能を All in one でまとめて提供する、ビジネス向けのお手軽クラウドバックアップサービスです。

お客様オフィス、データセンターなど



バックアップ

Arcserve UDP Cloud Direct



直接クラウドにバックアップするのでオンプレミスには**バックアップサーバやストレージは不要！**

バックアップ ストレージや復旧機能、管理機能は**すべてクラウド上に！**

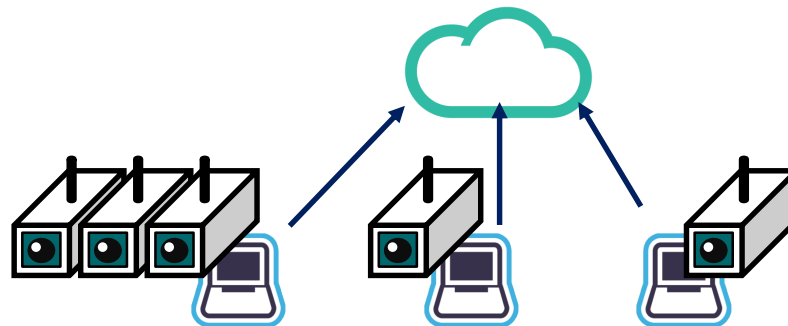
## Arcserve UDP Cloud **Direct** に適している場面



### Case1. 複数の拠点から、クラウドに直接バックアップしたい

各拠点ごとにバックアップサーバの導入不要。直接インターネット経由でバックアップ

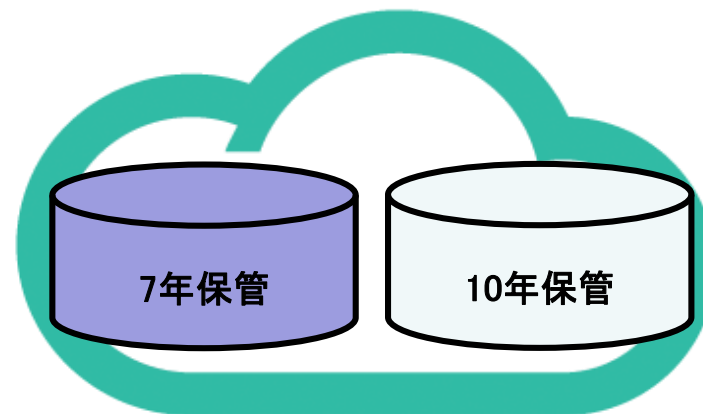
例) 複数拠点の監視カメラの画像データをクラウドにバックアップ



### Case2. HDDの耐用年数を気にせずにデータを長期保管したい

HDDの耐用年数（5, 6年程度）を越える長期保管が可能

例) 法律事務所の長期保管が義務付けられていてデータをハードウェアメンテナンスが不要なクラウドに保管

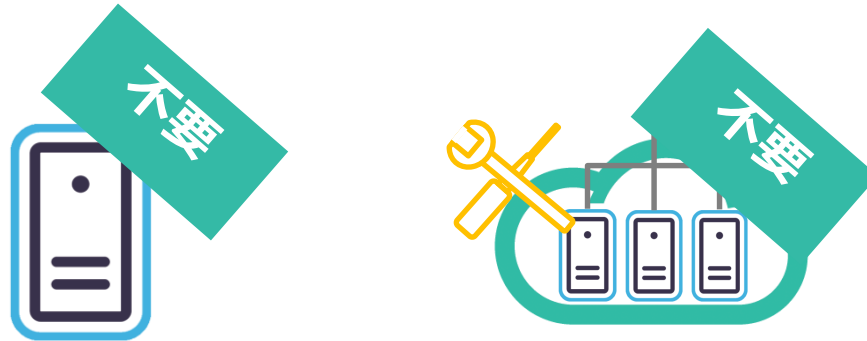




## Arcserve UDP Cloud **Direct** に適している場面



**Case3.導入に時間がかからない、すぐにでもバックアップ運用を開始したい**  
ハードウェアの準備が要らないので、簡単なバックアップ設定だけで即日運用開始



## Case4.災害対策サイトとしてクラウドを利用したい

地震などの広域災害が起きてオンプレミスが被災しても業務を継続する必要がある。  
地理的に十分な距離の離れた支店や支社がないので、クラウドを災害対策サイトとして利用したい。



# Arcserve UDP Cloud **Direct** 2つのサービス



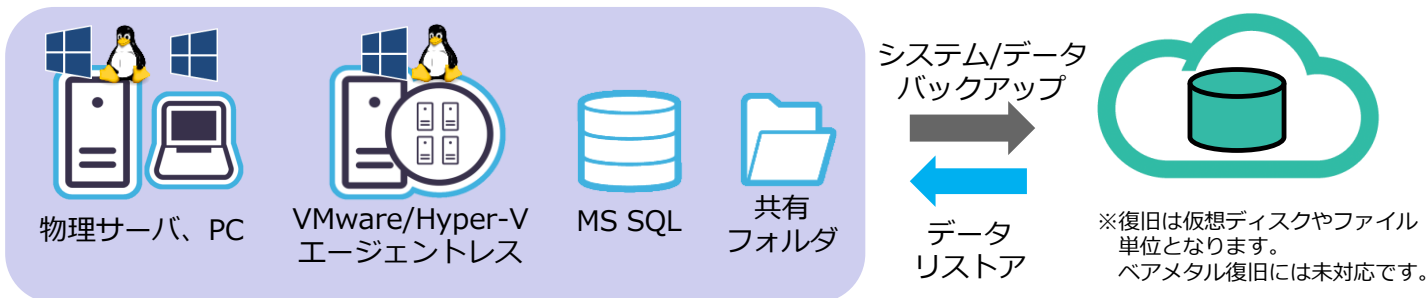
ニーズにあわせた2つのサービスをご提供

オンプレミス被災時  
にも重要データをリ  
ストアしたい！



## BaaS

“Backup as a Service” - クラウドにバックアップ



## DRaaS

“Disaster Recovery as a Service” - クラウド内で業務継続



オンプレミス被災時  
にも迅速に業務を再  
開したい



※クラウドで復旧したVMにはVPNで接続可能  
※クラウド上でActive Directoryも利用可能（オプション）

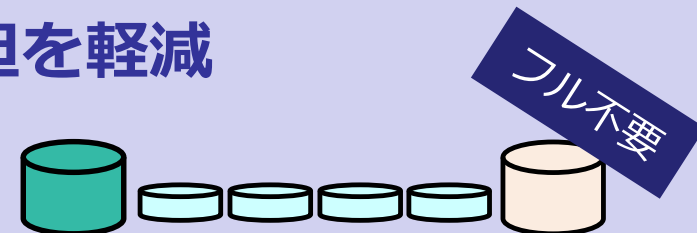
# Arcserve UDP Cloud **Direct** との仕組みについて



## ～ クラウドへのバックアップを支える仕組み

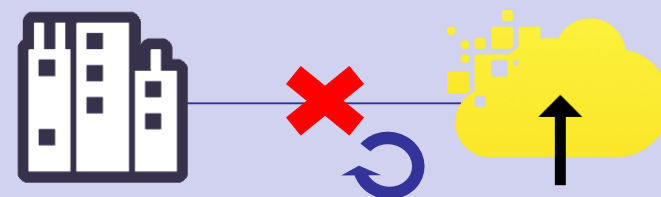
### ① 少ない転送量でネットワークの負担を軽減

フルバックアップの転送は初回だけで、  
2回目以降は増分データだけを圧縮転送。  
さらに帯域制御機能で日中の業務影響を軽減。



### ② ネットワーク障害でも安心

転送失敗時は自動リトライし、  
回線復帰後は未送信分の転送を再開。  
インターネット経由でもしっかりデータを複製します。



### ③ データは安全に転送・保存

転送時は SSL(sha384)で暗号化  
保存時は AES 128 で暗号化



# Arcserve UDP Cloud **Direct** 利用開始までの流れ



サーバ見積もりも構築作業も不要で、発注からわずか**2営業日**でバックアップ運用を開始！



※ 2営業日は Storage リソースをご注文いただいた際の所要日数です。  
 Compute リソースの構築にはさらに数営業日必要です。

# Arcserve UDP Cloud **Direct** ストレージサイズ (BaaS)

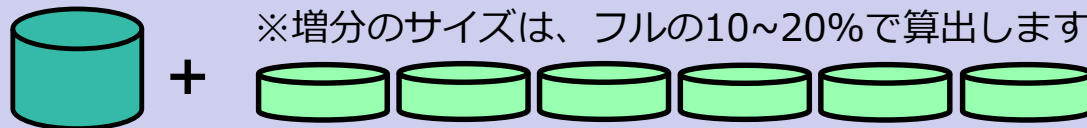


## BaaS : 発注するストレージサイズの見積もり方

### 必要なストレージ容量を確認

BaaS専用 ストレージ容量 :

フル バックアップ サイズ + (増分バックアップ サイズ×保存日数に応じた世代数)



#### 見積もるポイント！

- ◆ 契約するストレージ容量は保存先のストレージ容量となりますが、圧縮前のサイズで計算します
- ◆ バックアップ対象容量を確認し必要なストレージサイズを見積もり
  - ✓ 任意のファイル/フォルダ
  - ✓ サーバ全体
  - ✓ 任意のドライブ
  - ✓ 仮想マシン

バックアップ先の空き容量が15%を下回るとアラートメールでお知らせします。  
もし容量を超えた場合でも30日以内にストレージを追加契約いただければ、運用はそのまま容量を拡張し継続利用できます。

# Arcserve UDP Cloud **Direct** ストレージサイズ (DraaS)

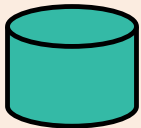


## DRaaS : クラウド上で必要なリソースの見積もり方

### ストレージ容量と、クラウドVMの必要リソースを確認

DraaS専用 ストレージ容量 :

フル バックアップ サイズ + (増分バックアップ サイズ×保存日数に応じた世代数)



契約したストレージサイズの範囲内で、BaaSにもDRaaSにも利用可能です  
但しバックアップ先ボリュームは、各サービスごとの専用ボリュームになります。  
ストレージが不足する場合は、運用を止めることなく利用可能サイズを拡張できます。



サーバの用途に応じて、クラウド上で代替運用するために必要なCPU数とメモリをご検討ください。



CPU

メモリ

# Arcserve UDP Cloud **Direct** の価格について



## 価格表

北米西海岸リージョン	月額
Storage - 1 TB	¥30,000
Compute - 1 vCPU & 4 GB RAM	¥7,500
追加オプション - Active Directory Server	¥25,000
追加オプション - IP Address - US	¥25,000

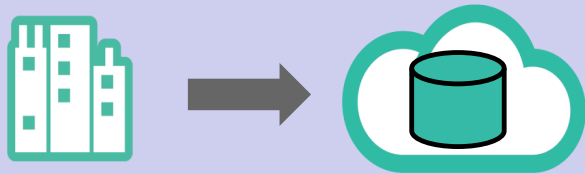
※ すべてのサービス項目は1年サブスクリプションです。

※ 価格は税抜です。

# Arcserve UDP Cloud **Direct** ライセンス構成例

## ライセンス構成例

### BaaS

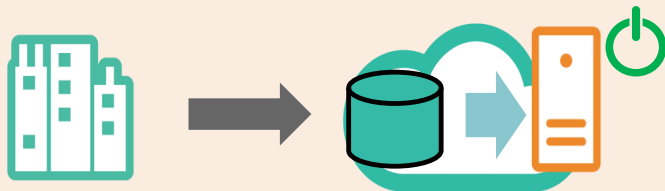


購入するサービス項目例

- ・ 「Storage - 1 TB」 x8

合計 8 TB までのデータを  
バックアップできます。

### DRaaS



購入するサービス項目例

- ・ 「Storage - 1 TB」 x8
- ・ 「Compute - 1 vCPU & 4 GB RAM」 x4

合計 4 vCPU, 16 GB RAM まで  
の VM を稼動できます。



# Arcserve UDP Cloud **Direct** 関連資料



## Arcserve UDP Cloud Direct 関連URL

- ・ 動作要件

<https://support.arcserve.com/s/article/115003836346?language=ja>

- ・ Arcserve サービス規約

<https://www.arcserve.com/jp/cloud-services/>

- ・ よくあるご質問と回答

<https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/08/ucd-faq.pdf>

- ・ 注意/制限事項

<https://support.arcserve.com/s/article/2019081401?language=ja>

## ご参考

# Arcserve Business Continuity Cloud のデータセンター



北米西海岸  
 Santa Clara

※設定画面上では格納先の地域として複数の選択肢が表示されますが、Santa Claraをご利用ください。

## ワールドクラス “Tier4” の信頼性

物理セキュリティ	データセキュリティ	回復力	各種認定取得
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 詳細な所在地非公表</li> <li>• 高い塀</li> <li>• 生体認証</li> <li>• 警備員配備</li> <li>• 映像監視</li> <li>• 侵入者捕獲装置</li> <li>• 動体検知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• AES暗号化 (保管時)</li> <li>• SSL/TLS暗号化 (転送時)</li> <li>• 役割ベースのアクセス制御</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 99.9999%のアップタイム</li> <li>• サーバとノードを冗長化</li> <li>• 複数の 10Gbps 回線</li> <li>• 24x365の運用センター</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• GDPR</li> <li>• PCI DSS</li> <li>• ISO 9001 &amp; 27001</li> <li>• SSAE 16 SOC Type 1,2</li> <li>• NIST 800-53</li> <li>• FISMA</li> <li>• HIPAA &amp; OHSAS-18001</li> </ul>

## サテライトオフィス・データバックアップ for Arcserve UDP Cloud **Hybrid** のご紹介

Arcserve UDP Cloud Hybrid 機能 に関する説明をします。



サテライト オフィス  
**Sateraito Office**

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** とは？

## Cloud Hybrid



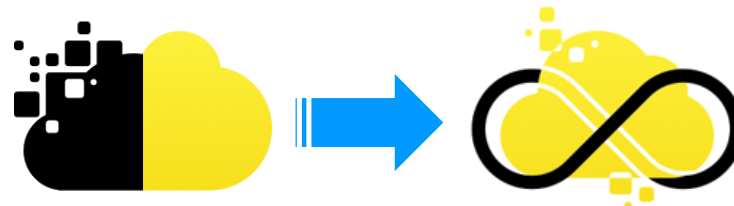
Arcserve UDP Cloud Hybridは、Arcserve UDP専用クラウドサービス。  
Arcserve UDP、UDP Applianceでバックアップしたデータの二次複製先、またはDRサイトとして提供するクラウドサービス。※Office365の直接バックアップ先としても使用可能。

## Cloud Hybrid 3つの利点

- 1. 既存運用のバックアップデータの遠隔保存**
  - ✓ Arcserve UDP (RPS) から遠隔転送
  - ✓ Arcserve UDP アプライアンスから遠隔転送
- 2. Office365 の1次バックアップ**

追加ライセンス不要でOffice365をクラウドへ「直接」バックアップ
- 3. バックアップデータの自動チェック**

アシュードリカバリでバックアップ復旧ポイントの自動チェック



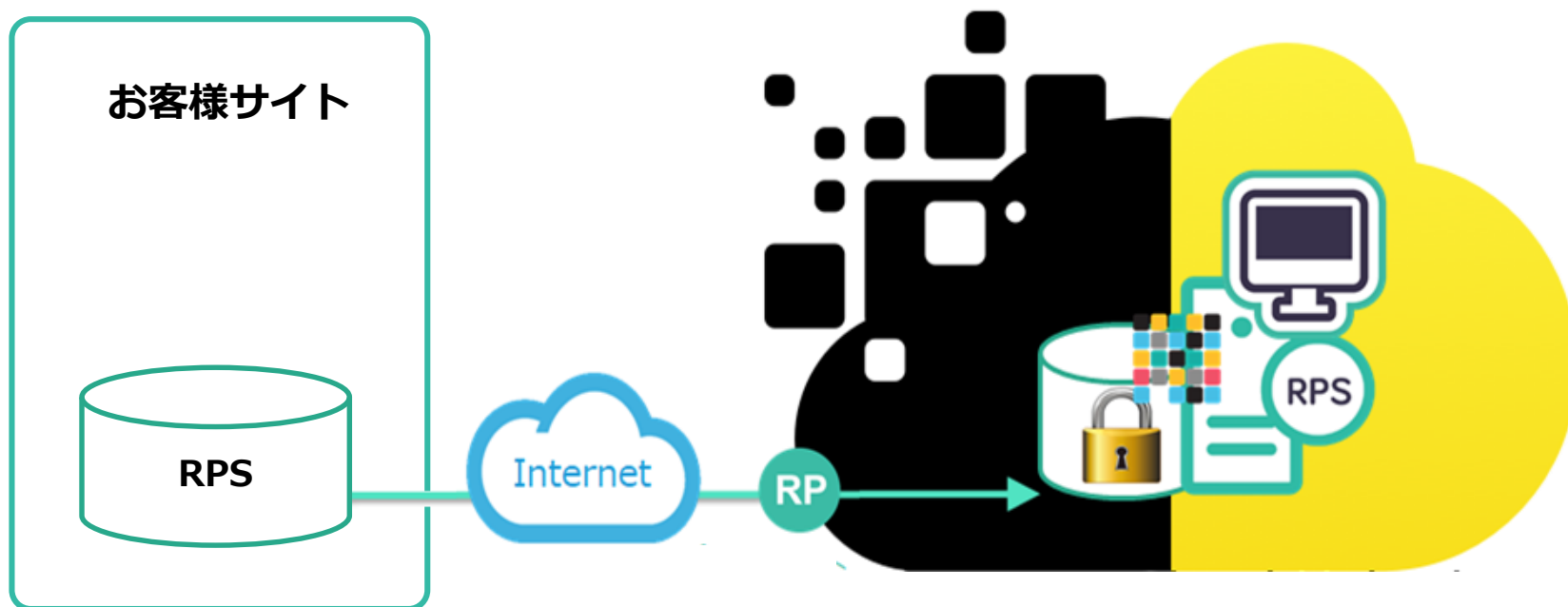
Cloud Hybrid

Continuity Cloud

## Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

### BaaS : バックアップ サービス

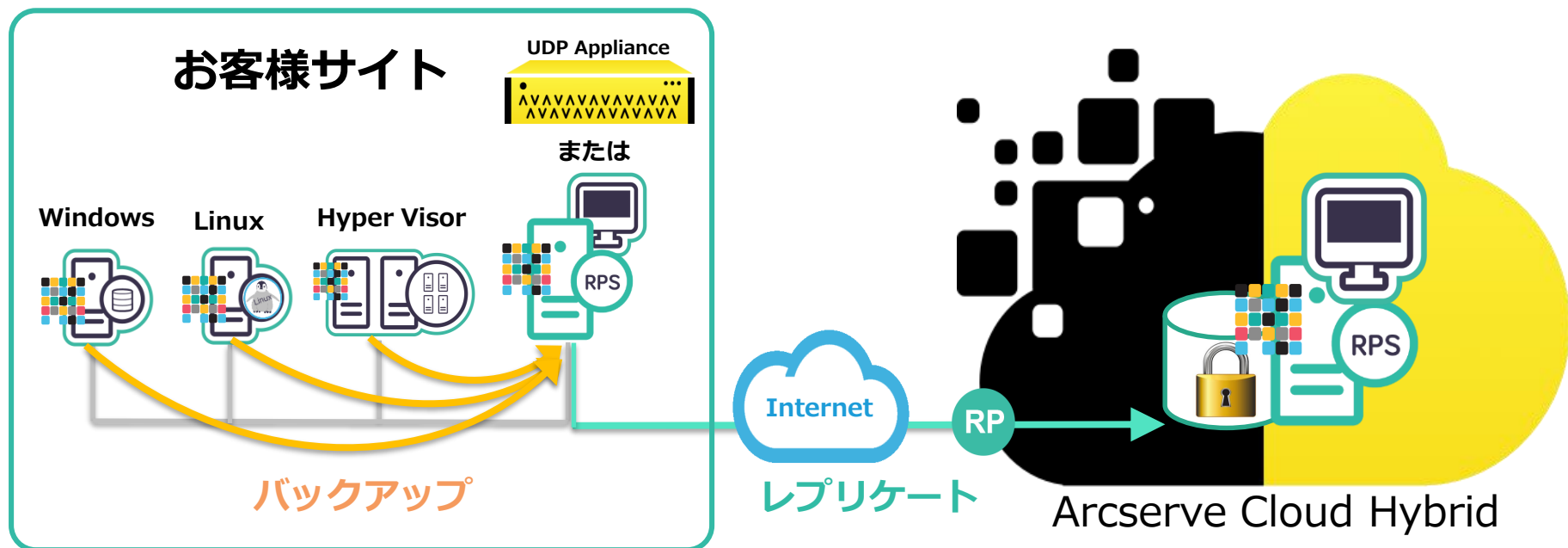
- ・クラウド上の Arcserve UDP (RPS) にバックアップ イメージを自動的にレプリケート。
- ・コンソール経由でオリジナル/異なる場所に、ブラウザ経由でローカルPCのダウンロード。
- ・サイト障害でもリバース レプリケーションで 本番サイトにベアメタルでサイト復旧可能。
- ・追加ライセンス不要で Office365 をクラウドへ「直接」バックアップ。



# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

 BaaS : 既存運用のバックアップデータの遠隔保存

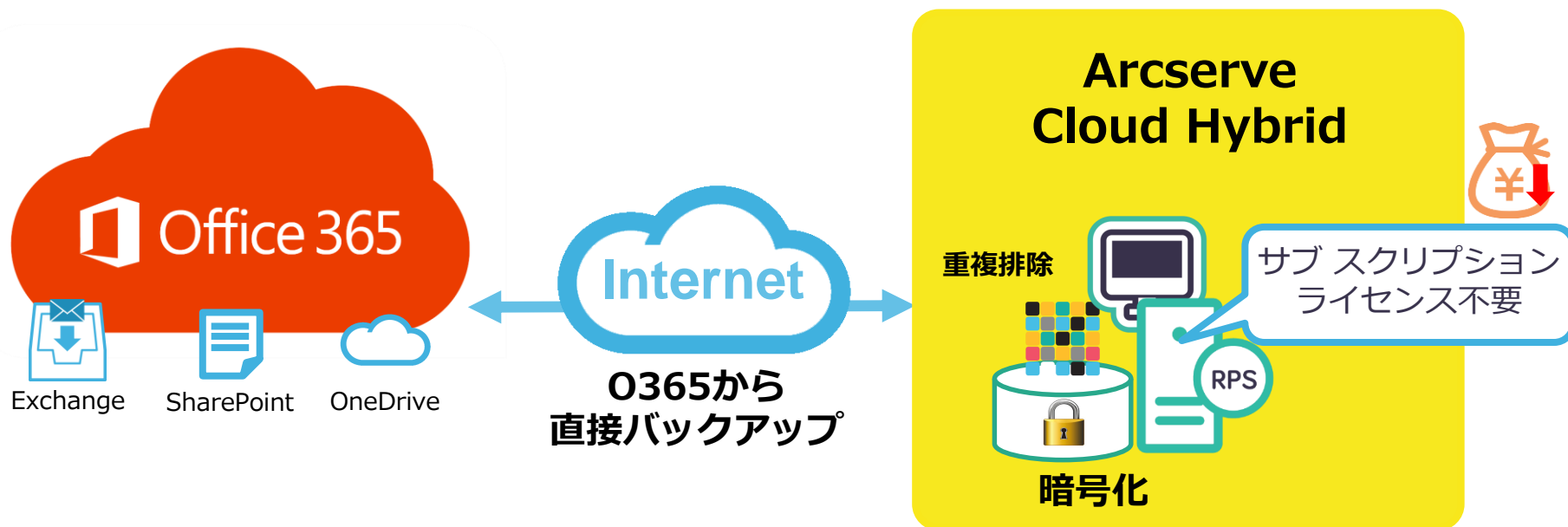
Arcserve UDP の RPS (復旧ポイントサーバ) /  
Arcserve UDP Appliance の遠隔保存




# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (**BaaS**)

 BaaS : Office 365 のバックアップ

追加ライセンス不要で Office365 を  
クラウドへ「**直接**」バックアップ

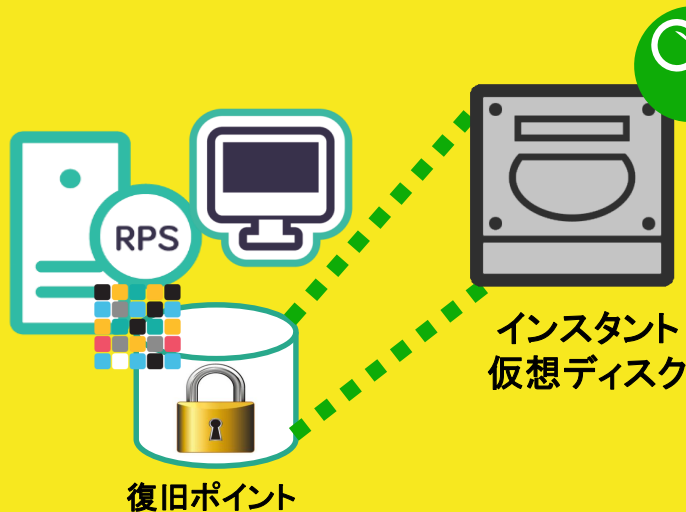


# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

 BaaS : バックアップ データ の自動チェックで安心保管

アシュアード リカバリで  
 バックアップの復旧ポイントの自動チェック

## Arcserve Cloud Hybrid



インスタント仮想ディスク(IVD) で  
 ファイル システムを確認 \*

\* 対象 : Windows/O365のみ

- ファイル システムの確認
  - ✓ chkdsk による確認も可能



# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

 BaaS : クラウド利用まで最短で7日

**災害対策環境を僅か7営業日\*で提供！**  
**接続設定するだけで利用開始！**



\*DRaaSの場合は、12営業日となります。

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

 BaaS : 構築不要で時間とコストを節約

クラウドでの構築作業不要！

UDPと操作は同じ、ブラウザでどこからでも簡単管理！

操作画面はUDPと同じ！



Cloud Hybrid リモート管理コンソール

Arcserve  
Cloud Hybrid

リモート管理の  
コンソール

復旧ポイント  
サーバ

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

 BaaS : シンプルな定額課金

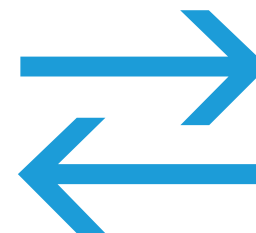
重複排除済データ TB単位/年の 定額課金 で安心

Arcserve Cloud Hybrid



TB単位の年契約

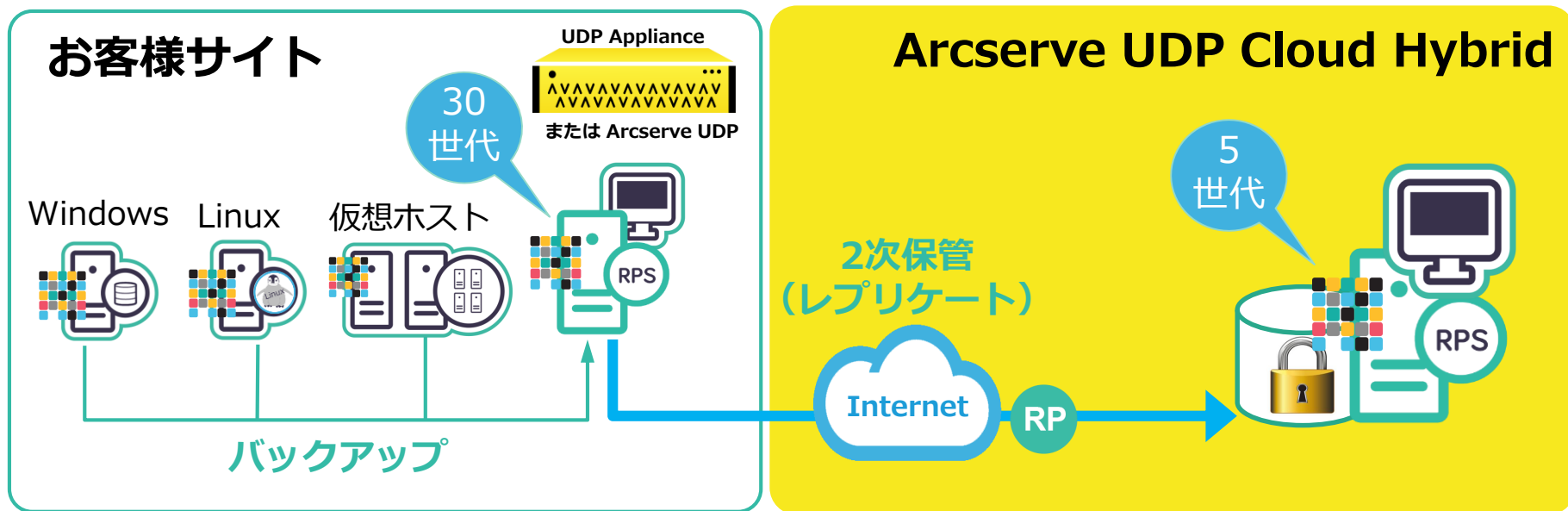
初期費用 : ストレージの費用のみ  
✓データ転送による課金無し



# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

 BaaS : Arcserve UDP Cloud Hybrid へのレプリケート

既存プランへタスク追加で簡単レプリケート



重複排除で回線  
 使用量を更に削減

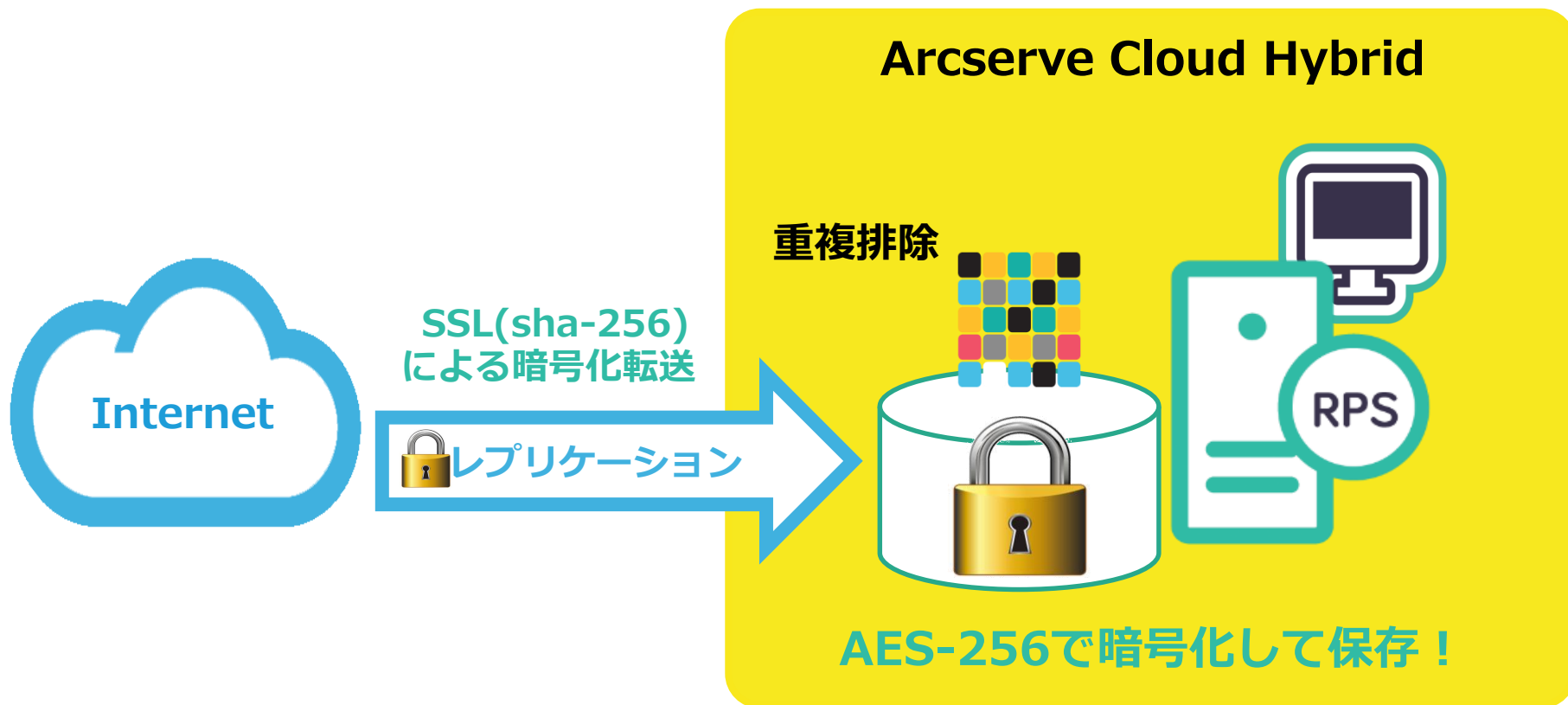
帯域制御、特定の曜日/  
 時間指定の転送

転送先を個別の  
 世代設定で管理

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (**BaaS**)

 BaaS : 安心のセキュリティ

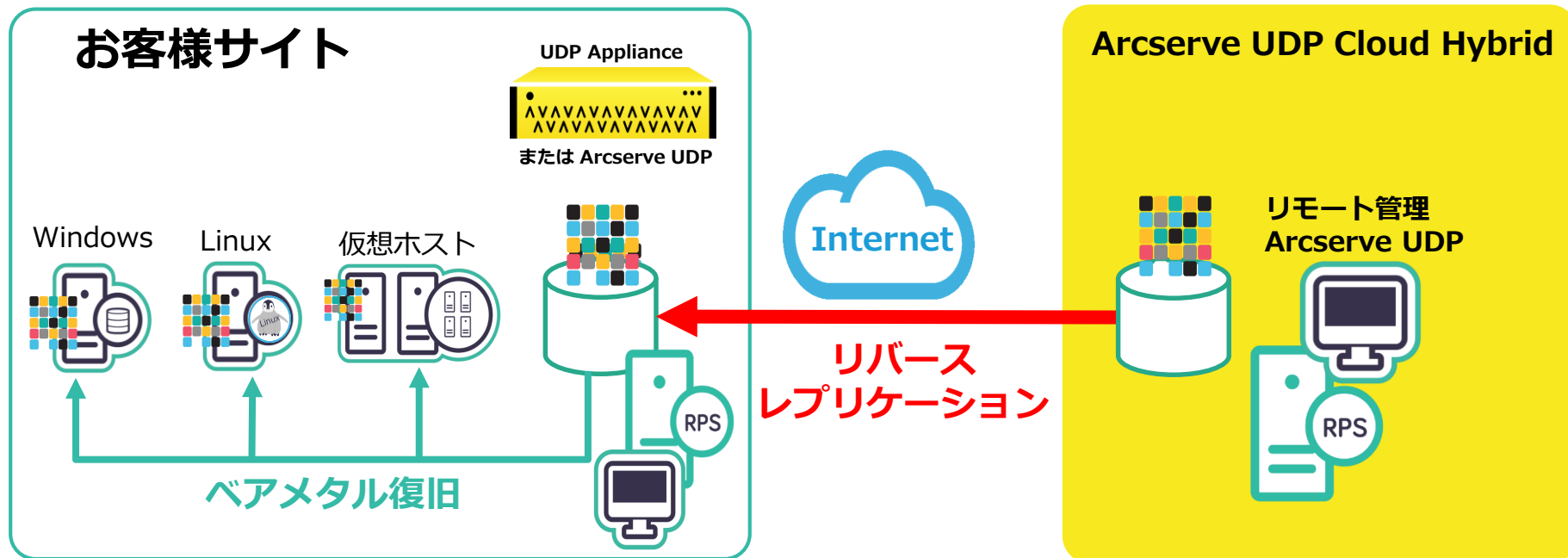
暗号化転送 & AES-256暗号化で  
バックアップデータを安全に遠隔保存




# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

 BaaS : サイト障害からの復旧

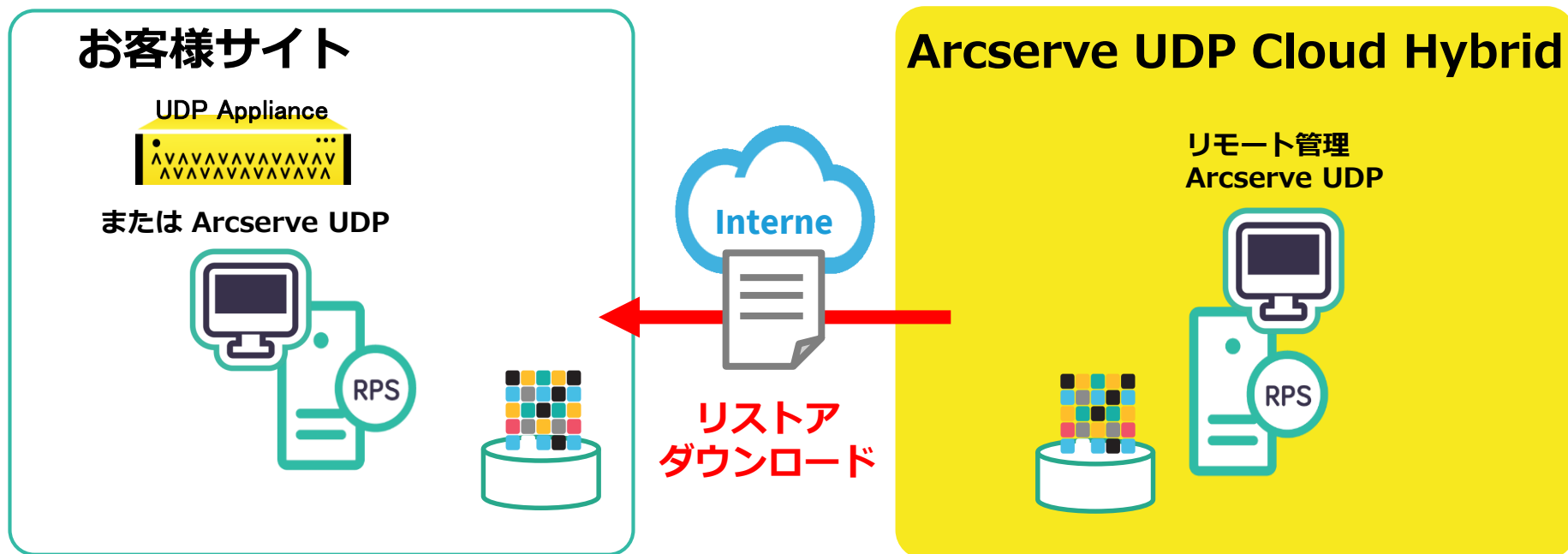
サイト障害でもリバーズ レプリケーションで  
本番サイトにベアメタルでサイト復旧



# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (BaaS)

 BaaS : ファイル/フォルダのリストア

コンソール経由でオリジナル/異なる場所に、  
ファイル単位でブラウザからダウンロード※

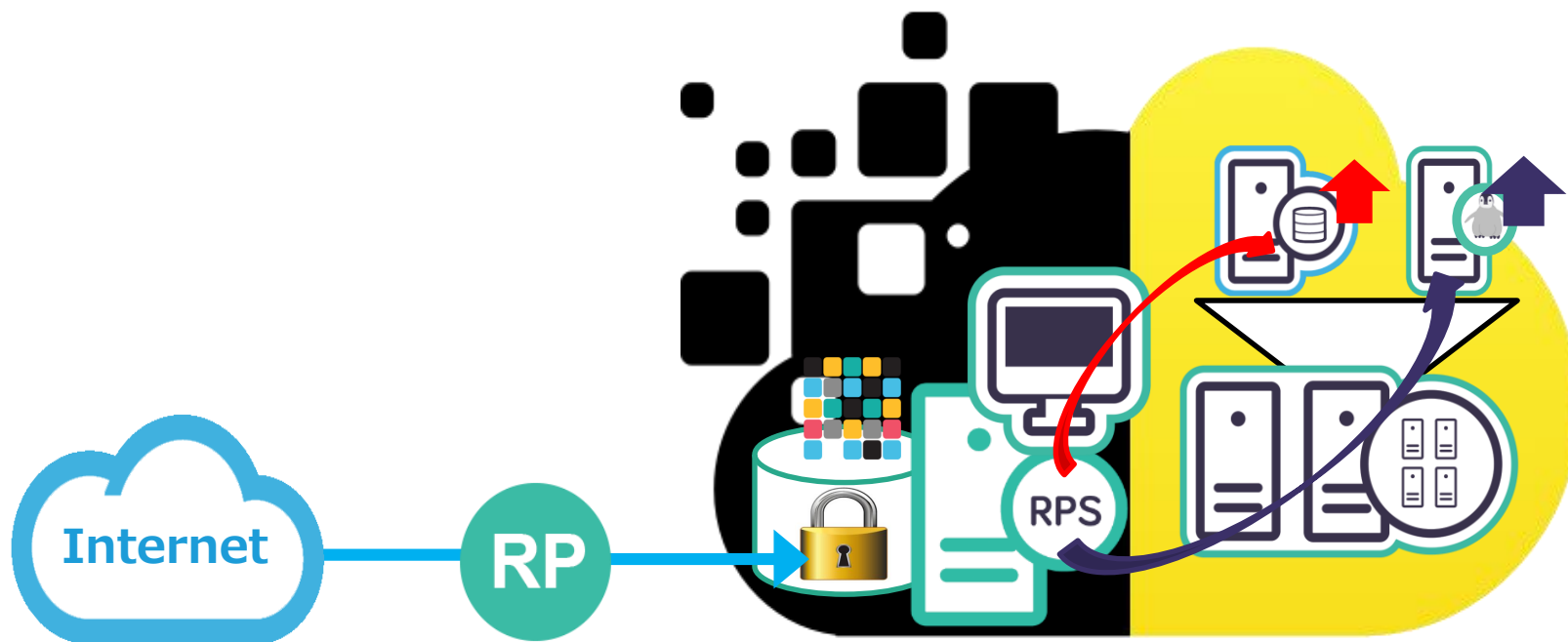


※ Linuxのファイル単位のダウンロードは、東日本リージョンでComputeの購入が必要

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (DraaS)

## DRaaS : 事業継続サービス

- ・災害に備え、クラウド上で事業継続可能にするための環境構築オプション。
- ・インスタントVM & 仮想スタンバイが可能。
- ・インスタント VM を利用したアシュアード リカバリで 復旧後の起動状態を確認

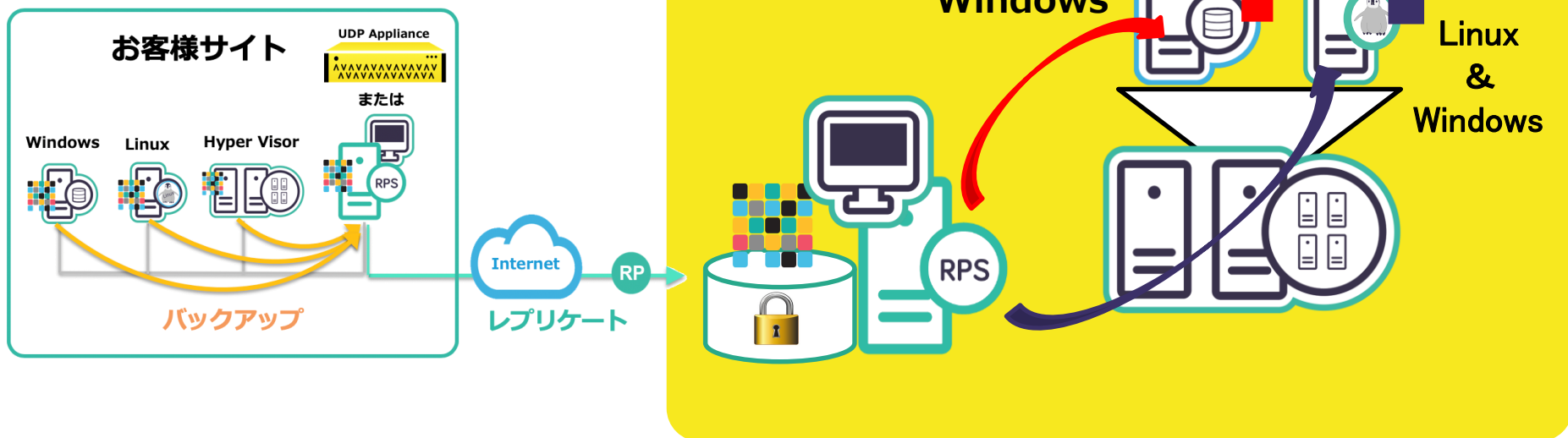




# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (DraaS)

 DRaaS : Cloud Hybridを利用した業務継続

インスタントVM & 仮想スタンバイで**業務継続**



# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (DraaS)

## DRaaS : 2種類の VPN 接続方法

Cloud Hybrid 上で稼動する本番システムの代替 VM にはインターネット VPN で接続できません。ポイント対サイト VPN と、サイト対サイト VPN の 2 種類の接続方法があります。

### ポイント対サイト VPN

出先やリモートオフィスからの接続に利用します。端末に VPN ソフトのインストールが必要です。



VPN



仮想スタンバイ/  
インスタント VM  
で作成した代替 VM



### サイト対サイト VPN

お客様サイトに設置した VPN ルータ経由で、代替 VM に常時接続できます。

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (DraaS)

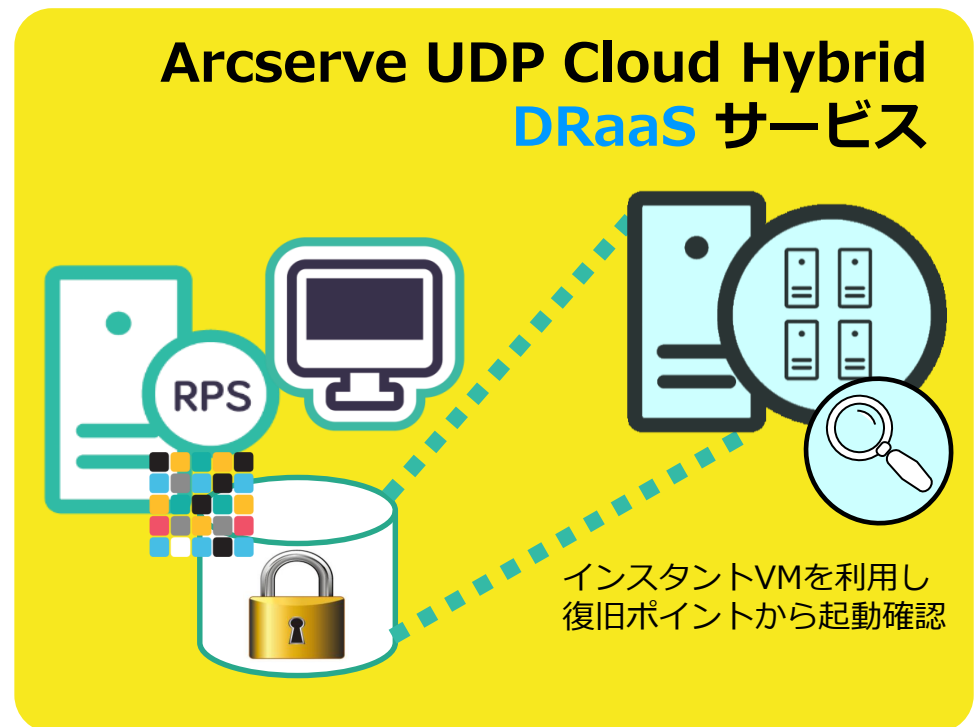


**DRaaS** : 復旧可否の自動確認で確実な復旧体制を維持

**インスタント VM** を利用したアシュアード リカバリで  
復旧後の起動状態を確認

- Windows/Linux サーバの復旧可否を自動確認

✓ インスタントVM方式でバックアップデータからVMを自動生成/起動して、システム起動状態やネットワーク疎通を確認



# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** 提供サービス (DraaS)

 **DraaS : クラウド利用まで最短で12日**

**災害対策環境を僅か12営業日\*で提供！**  
**接続設定するだけで利用開始！**



\*BaaSの場合は、7営業日となります。

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** のご紹介

## Windows と Linux でできること

お客様サイトの バックアップ方法	Windows		Linux	
	物理 (エージェント)	仮想 (エージェントレス)	物理 (エージェント)	仮想 (エージェントレス)
<b>BaaS (東日本/西日本リージョン)</b>				
逆向きレプリケート		○		○
ファイル単位の復旧		○		×
Assured Recovery	IVD 方式	IVD 方式	×	×
<b>DRaaS (東日本リージョン) ※Compute リソースの契約が必要</b>				
逆向きレプリケート		○		○
ファイル単位の復旧		○		○
仮想スタンバイ	○	○	×	×
インスタントVM	○	○	○	○ <sup>※1</sup>
Assured Recovery	IVD/IVM 方式	IVD/IVM 方式	IVM方式	IVM方式 <sup>※1</sup>

※1 Hyper-V 以外は NG

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** のご紹介

## Cloud Hybrid のリージョン

災対要件、ご利用シーンに応じて、2つのリージョンからご選択いただけます。

	東日本リージョン	西日本リージョン
データセンターの場所	東京都	大阪府
利用できる機能	バックアップ データの複製 仮想スタンバイ/ インスタントVM	バックアップ データの複製
インスタンスの容量	1 TB ~ 120 TB	4 TB ~ 16 TB

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** のご紹介

## Cloud Hybrid への転送時間目安

以下の表は、インターネット回線の帯域幅ごとの理論上の転送時間を計算したものです。特に Cloud Hybrid への初回のレプリケーションではフル バックアップ データが転送されるので、多くの時間が必要です。

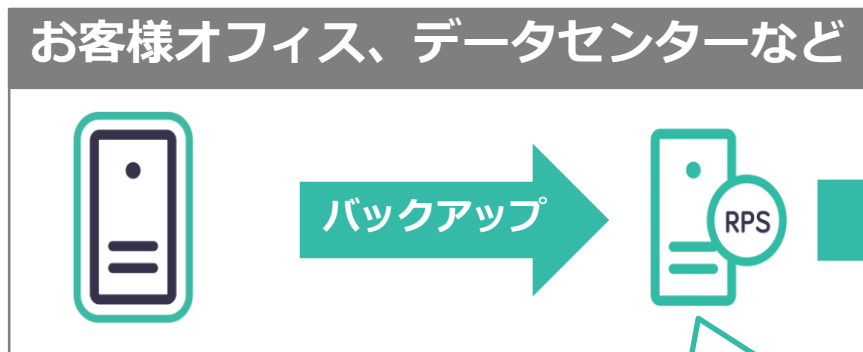
データサイズ	10 Mbps	100 Mbps
100 GB	23 時間	2 時間
1 TB	10 日	1 日
10 TB	97 日	10 日

※ Cloud Hybrid はデデュプリケーション（重複排除）が有効になっており、転送されるデータ サイズは重複排除前の総バックアップ データ量より小さくなります。

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** のご紹介

## Cloud Hybrid ストレージのサイジング

Cloud Hybrid のストレージ容量は、レプリケート（複製）元の Arcserve UDP 復旧ポイントサーバ（RPS）とほぼ同じだけです。



## Arcserve UDP Cloud Hybrid



レプリケート元の  
バックアップ容量

Cloud Hybrid に  
必要なストレージ容量

※ Cloud Hybrid でのデデュプリケーション ブロック サイズは東日本リージョンが 16 KB、西日本リージョンが 64 KB です。レプリケート元のブロック サイズがこれらより小さい場合、Cloud Hybrid にはより多くのストレージが必要です。

※ RPS の容量をより詳しく推計するには、以下の資料をご覧ください。

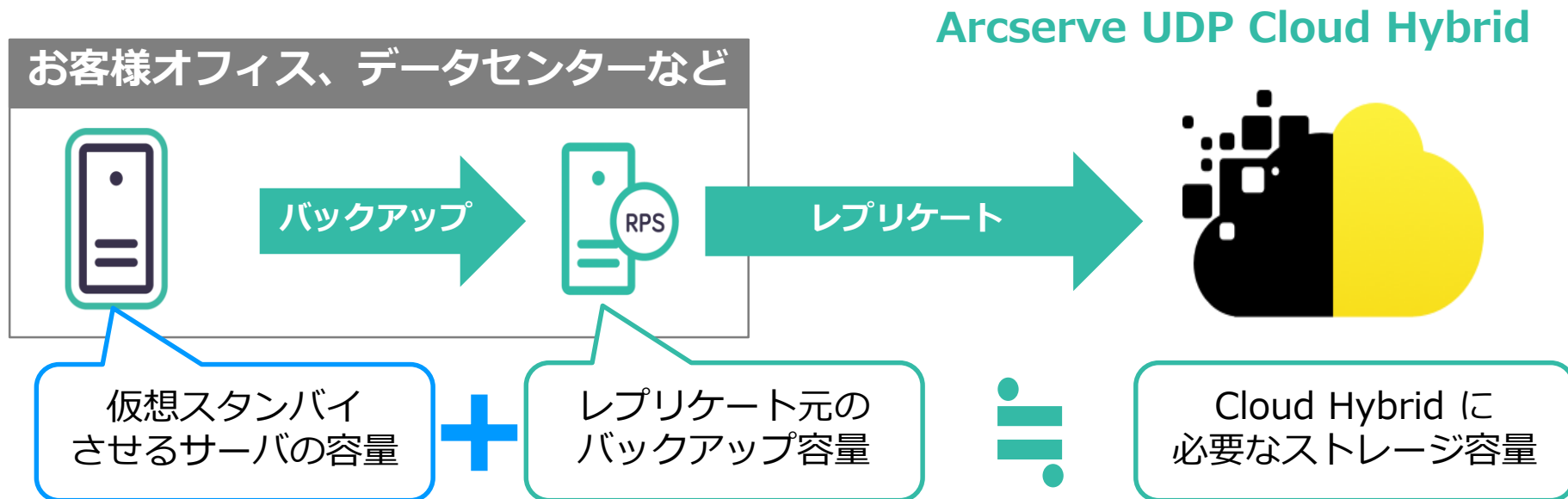
<https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2018/11/udp-v65-serverspec-guide.pdf>



# Arcserve UDP Cloud Hybrid のご紹介

## Cloud Hybrid ストレージのサイジング (仮想スタンバイ使用時)

Cloud Hybrid 上で仮想スタンバイ マシンを作成する場合、仮想スタンバイ マシン用のストレージも必要になります。



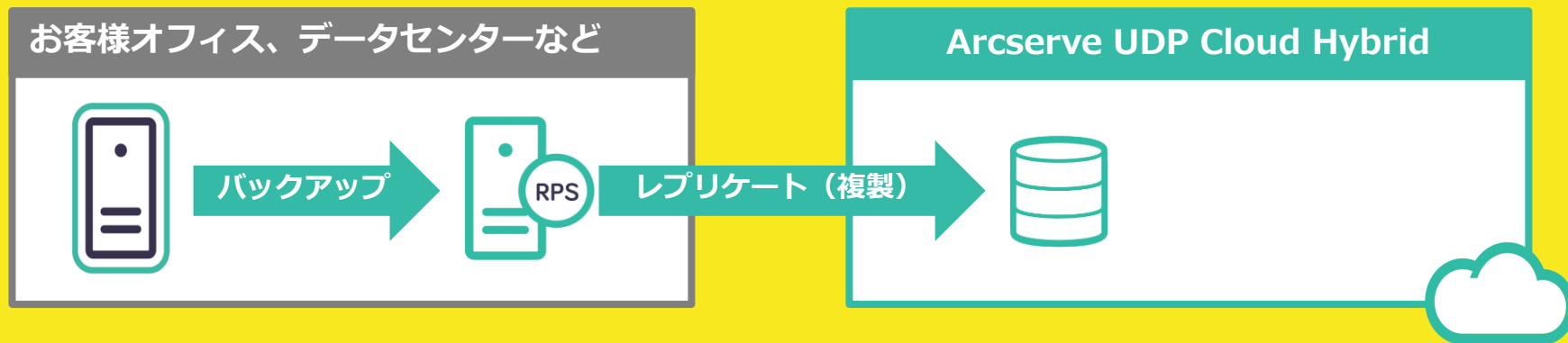
※ 仮想スタンバイさせるスナップショットの世代数に応じて、Cloud Hybrid に必要なストレージ容量は増加します。

※ Cloud Hybrid では Windows サーバ の代替仮想マシンを作成するために仮想スタンバイを使用します。インスタント VM という、Linux/Windowsサーバで利用できる代替機能の場合は、仮想マシン用のストレージは不要です。

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** のご紹介

## 構成例1

バックアップデータを Arcserve UDP Cloud Hybrid に複製するだけ。  
本番サイト全損時には複製したデータからリストア（復旧）できます。



### 購入するサービス項目例

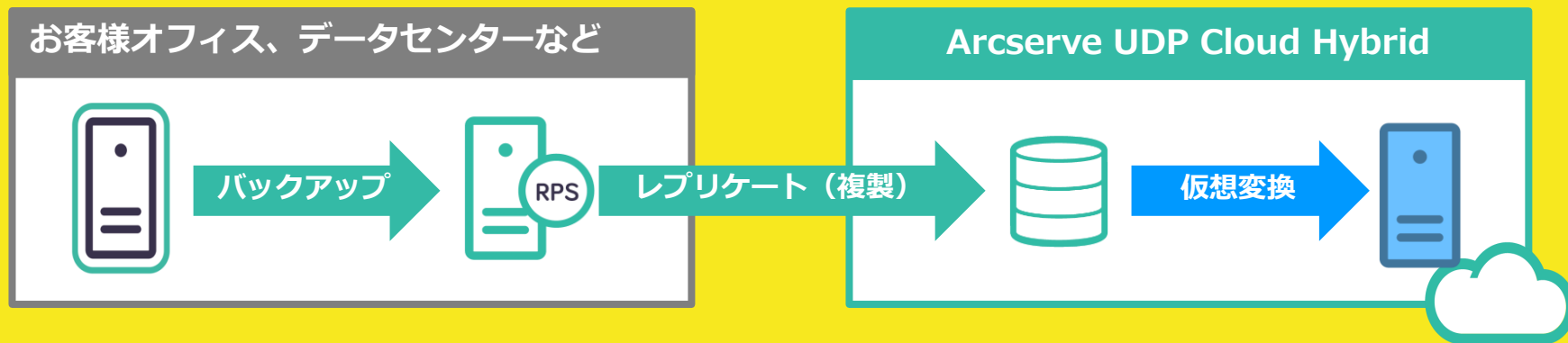
- ・ 「Storage - 1 TB (東日本) 」 x1
- ・ 「Additional Storage - 1 TB (東日本) 」 x7

合計 8 TB までのデータを複製できます。

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** のご紹介

## 構成例2

バックアップデータを Arcserve UDP Cloud Hybrid に複製するだけ。  
本番サイト全損時には複製したデータからリストア（復旧）できます。



### 購入するサービス項目例

- ・ 「Storage - 1 TB (東日本) 」 x1
- ・ 「Additional Storage - 1 TB (東日本) 」 x7

※購入するストレージサイズは、仮想スタンバイ用ストレージも含めて算出してください

- ・ 「**Compute - 1 vCPU & 4 GB RAM (東日本) 」 x4**

合計 4 vCPU, 16 GB RAM  
までの VM を稼動できます。

# Arcserve UDP Cloud **Hybrid** の価格について

## 価格表

東日本リージョン (DraaS対応)	月額
Storage - 1 TB	¥16,000
Additional Storage - 1 TB	¥16,000
Compute - 1 vCPU & 4 GB RAM	¥5,250
Compute - グローバル IPv4 アドレス	検討中
西日本リージョン	月額
Storage - 4 TB (4 TB~、追加1 TB単位)	¥68,000
Additional Storage - 1 TB	¥17,000

※ すべてのサービス項目は1年サブスクリプションです。

※ 価格は税抜です。

※ Office 365のバックアップ以外では、一次バックアップ用に Arcserve UDP が必要です。

# サテライトオフィスのご紹介

本章では、サテライトオフィスのご紹介



サテライト オフィス  
**Sateraito Office**

# サテライトオフィスのご紹介

## 会社概要

社名 株式会社サテライトオフィス

設立 1998年7月

資本金 70,000,000円

代表者 代表取締役社長 原口 豊

社員数 140名（海外子会社含む）

所在地 **本社移転しました！（2017/12/15）**  
 (New) 〒135-0016 東京都江東区東陽4-10-4 東陽町SHビル5F（東西線東陽町駅徒歩3分）  
 (旧) 〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-4 マニュアルプレイス東陽町7F

連絡先 TEL：050-5835-0396（代表）／ FAX：050-6861-2893  
 E-Mail：contact-info@sateraito.co.jp

概要 サテライト環境で企業様をビジネス支援するサービスを展開しています。Google社@G Suite、マイクロソフト社@Office365、LINE WORKS、Dropbox Business、Facebook社@Workplace by Facebookなどのクラウドコンピューティングに特化し、SaaS型サービスのビジネス支援を展開しております。また、オフショア拠点として、ベトナムに、現地100%子会社（サテライトオフィス・ベトナム）を設立し、オフショア開発の業務を推進！ロボット・IoTビジネスも拡大中です。

関連会社 株式会社ネクストセット（100%子会社）  
 株式会社サテライトオフィス・ベトナム（100%子会社）

## G Suite

**Google Cloud**  
 Premier Partner

Google for Education  
 Partner

- ★G Suite 認定ソリューションパートナー
- ★G Suite 認定販売リセラー

<http://www.sateraito.jp>

# サテライトオフィス:Google認定プレミアサービスパートナー



## Google Cloud Partner

Google のグローバル パートナー ネットワークは、企業のイノベーションの促進、スマートなスケーリング、セキュリティの確保を支援します。



## 株式会社サテライトオフィス



G Suite / Google Map API / Google Cloud Platform の導入支援 + 連携ソリューションを得意としております。開発は、ベトナムのオフショア開発を利用することで、安価に提供も可能です。

<http://www.sateraito.jp/>

<https://cloud.google.com/partners/directory/>

# サテライトオフィス・G Suite 導入支援ソリューション



G Suiteのことならクラウドコンピューティングに特化したサテライトオフィスへ GlobalSite

[でフォローしてください!](#)

検索

お問い合わせ

製品情報

ニュース

会社案内

パンフレット



4年連続 Google Enterprise Day Tokyoにて、  
**“パートナーアワード”を  
受賞いたしました!**

Googleクラウドサービス  
全国集合セミナー

お申し込み ▶

Googleクラウドサービス  
オンラインセミナー

お申し込み ▶

Office365活用セミナー



お申し込み ▶



**クラウド全アドオン導入社数 1/1 現在 3万7877社/810万0652アカウント**

30,000社以上（中小規模～大規模）の導入支援によるG Suiteの情報が豊富です。新しい機能や技術に関して導入済みのお客様とのコミュニケーションによりいち早く解決。Google For Educationの導入支援、Chromebook、Hangout Meetハードウェア、Jamboardなどハードウェアの導入支援もおまかせください！



# サテライトオフィス・ロボット&IoTソリューション

ロボット、IoT、クラウド開発もサテライトオフィスにおまかせください！



**MESH™** ×  **Sateraito Office**



IoTセンサー & ビジネスフローツールで業務効率化！  
MESH™ 法人向け販売開始！



© SHARP CORPORATION

# サテライトオフィス・ベトナム クラウド開発/オフショア開発

オフショア開発もサテライトオフィスにおまかせください！

サテライトオフィス・ベトナム  
オフショア開発



My twitter



サテライトオフィス・ベトナム/ハノイ

サテライトオフィス子会社：株式会社コードラバーズ



<http://codelovers.vn/>

サテライトオフィス・ベトナム/ホーチミン



<http://www.sateraito.jp/>



弊社実績：日本で開発していた弊社アドオンの70%を、1年間でベトナムへ移管する事ができました。  
年間3,000万円以上のコスト削減と自社開発力が3倍以上アップしました！

# クラウド検証コンサルティングのご提案

本章は、クラウドコンピューティング検証フェーズのコンサルティングの説明をします



## クラウド技術・検証フェーズコンサルティング（有料）

クラウドコンピューティング導入の検証作業コンサルティングの概要を下記に記します。

御社内にクラウドコンピューティング技術を導入するにあたり、

- ・セキュリティ面、業務面、コスト面でメリットがあるのか？
- ・実際の導入した場合は、利用イメージはどうか？
- ・テストケースとして、一部門利用で検討したい！

などのニーズをコンサルティング形式で専任コンサルタントが3ヶ月間に渡り、一緒に作業をいたします。

※今回は、クラウドコンピューティングの中でもG Suite に特化した検証



3ヶ月間に計6回の訪問コンサルティング+電話でのサポートを行います。

費用：30万円+G Suite のアカウント費用+コンサルタント交通費

- ・3ヶ月間のコンサルタントによる検証コンサルティング業務
- ・3ヶ月間で計6回訪問（1回4時間程度）



# クラウド技術・検証フェーズコンサルティング（有料）

クラウドコンピューティング導入の検証作業コンサルティングの概要を下記に記します。

## ①クラウドコンピューティングの全体概要を習得して頂くフェーズ

クラウドコンピューティングについてG Suite の全体概要G Suite のセキュリティ  
Googleスケーラビリティに関して

## ②G Suite セットアップ利用検証フェーズ

DNS設定、メール転送、メール移行方法の検証  
G Suite メール、カレンダーの効果的なコーチング

## ③G Suite 利用検証フェーズ（ドライブ、サイト、グループ、ハンアウト、管理者機能）

実際のG Suite 機能のコーディング、効果的に利用するためのHowToをコンサルティング

サンプルサイト構築

## ④G Suite 自社導入に関する検討ディスカッション

G Suite を自社導入する場合に関するディスカッション。御社システムでの機能洗い出し

## ⑤既存システムとのFit&Gap洗い出しフェーズ

既存システムとG Suite とのフィット&ギャップ御社システムでの機能洗い出し

## ⑥全体総括ミーティング

G Suite 導入に関する報告  
・メリット&デメリット  
・費用対効果  
・取締役会提出資料の作成



## 最後に

本章は、その他の説明をします。



# なぜサテライトオフィスなのか？

サテライトオフィスが提供するソリューションのメリットは何か説明させていただきます。

## 30,000社以上の導入実績による **ノウハウ提供**

30,000社（中小規模～大規模）以上の導入支援によるG Suiteの情報が豊富です。新しい機能や新しい技術に関して、導入済みのお客様とのコミュニケーションによりいち早く解決して行きます。また、30,000社様の要望の多いものから拡張アプリケーションとしてリリースして行きます。

## G Suite **ビジネステンプレート+アドオンアプリケーション**の提供

多くのビジネステンプレートをご用意しております。今までのグループウェアの様な、テンプレートも用意しております。また、G Suite内では実現できない部分は、拡張アプリケーションとして、API + Google App Engine などを利用する事で、今後も実現して行きます。是非、ご要望をください！

## Google App Engine や APIによる開発 (**カスタマイズ**) ソリューション

弊社Google App Engineフレームワークによるシステム開発が可能です。またAPIを利用した社内システムとの連携ソリューションも有効的です！今後もGoogle App EngineやAPI技術は、早い速度で拡張していきます。サテライトオフィスでは、いち早く技術を習得し、ソリューションとして、提供して行きます。

## 弊社スペシャリストとの**テレビ会議&オンサイトによるスピーディーなサポート体制**

サテライトオフィスの**一番の強みはサポート**です。電話やテレビ会議や画面共有ソフトを利用し、とにかくスピーディーに解決して行きます。満足度高いサポートを提供していきますので、よろしくお願いいたします。



*Sateraito ~ for your best solution*



BayTech Systems,  
The Finest Solution  
Company



サテライト オフィス  
**Sateraito Office**



認定ソリューション開発パートナー

株式会社サテライトオフィス  
〒135-0016  
東京都江東区東陽4-10-4  
東陽町SHビル5F  
TEL : 050-5835-0396 (代表)  
FAX : 050-6861-2893  
E-Mail : contact-info@sateraito.co.jp